

県産農林水産物の新たな流通モデル構築事業

フードイノベーション課

1 事業の目的

2024年問題の影響が取りざたされる中、深刻な輸送力不足や燃料価格の高騰への対応に加え、関西圏・中京圏（以下、「関西圏等」という）における県産農林水産物の魅力発信や販路拡大につなげるため、旬の県産食材を回送電車や共同配送、混載などにより、短時間で計画的に効率良く関西圏等の駅や飲食店、小売店等に輸送する新たな流通モデルを構築します。

2 事業の必要性

2024年問題の影響が取りざたされる中、深刻な輸送力不足や燃料価格の高騰へ対応する必要があります。

また、農林水産業を取り巻く情勢が厳しさを増すなか、県内生産者の収益向上を図るためにも、県産農林水産物を県内外の消費者から「積極的に選ばれる」ものへと発展させる取組を実施する必要があります。

3 事業の内容

現在の県内農林水産物の流通の現状と課題を調査し、それに対応するための旬の県産農林水産物の新たな流通モデルの構築を行います。

また、構築した流通モデルを活用し、飲食店や小売店等での継続的な活用・販売に向けたサプライチェーンの構築に取り組みます。

4 事業の効果

旬の県産食材を回送電車や共同配送、混載などにより、短時間で計画的に効率良く関西圏等の駅や飲食店、小売店等に輸送する新たな流通モデルを構築するとともに、飲食店や小売店等での継続的な活用・販売に向けたサプライチェーンの構築に取り組むことにより、県産農林水産物の魅力発信と販路拡大につなげます。

5 予算

令和7年度当初予算

県産農林水産物の新たな流通モデル構築事業